

オレリエン・ハンターの スイスへの誘い

「誰も知らない」
— だけど、皆が考えてほしい！



突然ですが、私は映画が大好きです。洋画がもちろん好きですけど、どちらかといえば邦画のほうが好きかもしれません。

小津安二郎を始めとして、好きな日本の監督が大勢いますけど、特に気に入っている監督を挙げておきます。河瀬直美（沙羅双樹）、堤幸彦（2LDK）、今村昌平（楳垣節考）、行定勲（きょうのできごと）、篠原哲雄（昭和歌謡曲全集）、北野武（座頭市）、是枝裕和（幻の光）…。

上述した監督や作品はとても面白いけど、国内でなかなか人気を得られないようです。海外の映画祭に出品したり、輝かしく受賞したりしてから、日本で認められ、人気を得るようです。そういった現象の代表的な例として北野武監督が思い浮かびます。

一番評判の高い海外映画祭は2月の「ベルリン国際映画祭」、5月の「カンヌ国際映画祭」と9月の「ベネチア国際映画祭」です。



柳楽優弥

5月なのでカンヌ映画祭で受賞した日本人のことを話しましょう。黒澤監督や今村監督に続き、史上最年少で受賞した二人がいます:1997年のカメラ・ドール（新人監督賞）を受賞した河瀬監督（「萌の朱雀」、当時27才）と2004年の最優秀男優賞を受賞した柳楽優弥（「誰も知らない」主演、当時14才）。

今回は「誰も知らない」が扱う問題について書きたいと思います。

「誰も知らない」とは、1988年に母親が2歳から14歳までの4人の子供を置き去りにして、愛人と居住していった、「西巣鴨子供置き去り事件」を基に現代社会にあわせた是枝監督の映画です。

事件の起こりは婚姻届や出生届が提出されなかったことや、嫡出子に対する社会の偏見などがありますが、親にも社会にも大きな責任があると思います。子供を学校にも行かさずに自宅で育てた母親は、ある日14歳の長男に3人の妹たち（5才、3才、2才）の世話を任せてお金とメモを残して出ていきました。子供だけの生活は都会の死角で周囲に悟られることもなく、誰も知らないで、9ヶ月間続きました。「どうもアパートに子供たちだけで暮らしているようだ」と大家が警察に通報して、福祉事務所の相談員が訪問したときに事件が発覚しましたが、その前に、2才の女子が長男の友人の乱暴ないじめで死亡し、その遺体が雑木林に埋められました。

スイスにも似たような事件が起りました。2001

年、刺激剤中毒の母親（23才）が保護施設に預けられていた16ヶ月の娘を誘拐し、一緒に暮らしていました。母親は5月7日に娘を寝かした後に刺激剤を買いに町に出かけましたが、万引きの容疑で逮捕されました。母親は警察の取調べを受けたときに、禁断症状で混乱して、娘を誘拐してしまったことで親権を失うことを恐れて、娘のことを一切話しませんでした。誰も知らないままに一人で残された娘の泣き声が聞こえるほどだったようですが、近所の人はそれ以上心配しなかったようです。母親が逮捕された3週間後の6月1日に、娘の死体が発見されました。

日本の「西巣鴨子供置き去り事件」、「コインロッカー乳児遺棄事件」、「パチンコの駐車場で12時間放置、乳児死亡」、スイスの上述した事件の他に虐待、養育放棄（ネグレクト）という子供にまつわる無残な事件が世界中に増えています。その原因はいったい何でしょうか。子供の面倒を見ない親はどうして増えたのでしょうか。少子化の現在だからこそ、虐待やネグレクトを無くすのは社会全般の課題です。

2003年からAC公共広告機構は親子の絆、関係、コミュニケーションを推進する目的で、親が子を「抱きしめる」ことの必要性、その効果を強調する「抱きしめる、という会話」というキャンペーンをやっています。「自分の子供なのに愛し方がわからない。まず子供を抱きしめてあげてください。それは、あなたにもできる、言葉を超えた愛情表現です。人は愛された記憶があるから、人を愛せるのだと思う」というCMの内容はとてもシンプルで、心に深く刻みました。

キャンペーンの反響が大きく、引き続いて2004年に父親をテーマにして、同じようなメッセージを送り続けています。「がんばれよ。ごめんよ。愛しているよ。そんな言葉のかわりに、父親たちは我が子を抱きしめたりする。父親は母親になれない。でも、ちっちゃなこころはいつも手を伸ばして待っています。子どもをもっと抱きしめてあげてください」。やはりいいメッセージですね。

当たり前のはずですが、未来を担うのは子供で、それを見守って支えていくのは親の役割です。私もいずれ父親になり、子供を大事にして育てていきたいと思っています。

5月5日は「こどもの日」です。せっかくですから、「誰も知らない」を観賞して、親の役割、社会の責任、子供の重要さなどを再認識するいい機会かもしれません。

余談ですが、5月16日は私の誕生日です。次号まで、ごきげんよう！

